令和 7 年度予算子育て支援施策関係概要

<令和 7 年度予算>

1 パパママ教室の定員拡大【充実】 5,522千円

参加希望者の増加に伴い、開催回数の増加および定員の見直しを行い、総定員数を拡大する。

* 総定員数の拡大 776組 → 1,096組

※パパママ教室を開催している保健所、各保健センターの総定員数

2 妊婦のための支援給付【新規】 369,429千円

妊婦および出産後の子育て世帯に対して支給していた出産・子育て応援ギフト（WEBカタログギフト）に代えて、妊婦に対して産前産後期間における経済的負担等を軽減し、妊婦や胎児の保健および福祉の向上に寄与するため、給付金を支給する。

* 対象者 妊婦

* 支給時期および支給額

・妊婦給付認定申請時（妊娠時） 5万円

・胎児数届出時（妊娠後期または出産後） 胎児1人あたり5万円

* 支給方法 口座振込

3 パースデーサポートの充実【充実】 143,394千円

2歳を迎える子どもがいる家庭の子育てを応援するため、経済的支援として支給しているWEBカタログギフトの充実を図る。

* 拡充内容

	現行	充実後
第1子	10,000円相当	60,000円相当
第2子	20,000円相当	70,000円相当
第3子以降	30,000円相当	80,000円相当

4 男性へのHPVワクチン任意予防接種【新規】 8,931千円

男性へのHPV（ヒトパピローマウイルス感染症）ワクチン接種に係る被接種者の費用負担の軽減を図ることを目的とし、任意予防接種の費用を助成する。

* 対象者 小学6年生～高校1年生相当の男性

* 助成回数 3回まで

* 実施方法 区内接種実施医療機関での個別接種

* 本人負担 無料

5 保育定員の拡大【充実】

433,023千円

保育ニーズの増加に対応するため、私立認可保育所を開設・増床する事業者に対して開設等準備経費の一部を補助する。

※ 保育定員の拡大

令和6年4月1日 定員 7,024人

令和7年4月1日 定員 7,043人（見込み）前年比+19人

令和8年4月1日 定員 7,263人（見込み）前年比+220人 合計+239人

* 私立認可保育所

施設名	ピノキオ幼児舎 HARUMI保育園（仮称） ※認証保育所から移行	さくらさくみらい 晴海 ※増床による定員拡大
運営事業者	株式会社 ピノコーポレーション	株式会社 さくらさくみらい
予定地	晴海2丁目1番40号 晴海プライムスクエア1階	晴海2丁目5番24号 晴海センタービル1階
定員	20人（0～2歳児） → 50人程度（1～5歳児）	26人（0～2歳児） → 62人程度（0～5歳児）
開設時期	令和8年4月（予定）	令和8年4月（予定）

6 期間限定型保育事業の未充足補助【新規】

6,508千円

人口増加や保育需要の高まりが当面続くと予測される特定の地域において、期間限定型保育（1・2歳児）の実施をより一層促進し、待機児童の発生防止の一助とするため、期間限定型保育に係る空き定員部分に対して補助を行う。

* 対象施設 区が指定する特定の地域で期間限定型保育を実施する園

* 補助額 公定価格における保育標準時間認定の1・2歳児の基本分単価

7 保育サービス推進事業の拡充【充実】

255,866千円

区民の多様な保育ニーズに対応するとともに、区内施設における保育の質の向上を図るため、私立認可保育所等に対する加算項目を追加する。

また、認証保育所については、0～2歳児の認可保育所の受け皿としての強化を図るため、私立認可保育所と同等の加算項目を追加する。

* 追加する加算項目

私立認可保育所，私立認定こども園，小規模保育事業	認証保育所
<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生の育児体験受入れ ・出産を迎える親の体験学習 ・とうきょう すくわくプログラム推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生の育児体験受入れ ・出産を迎える親の体験学習 ・とうきょう すくわくプログラム推進事業 ・障害児保育 ・育児困難家庭への支援 ・外国人児童受入れ ・保育所等体験

8 学童クラブ定員の拡大【充実】

708,703千円

学童クラブの待機児童数の増加や今後の人口増加に対応するため、小学校内に学童クラブを設置し、学童クラブと放課後子ども教室（プレディ）を一体的に運用する「プレディプラス」事業を実施するとともに、民設民営の学童クラブを区内に誘致するため、開設に要する経費および運営に要する経費の一部を補助する。

※ 学童クラブの登録定数の拡大（民間学童含む）

令和6年4月1日 定員 1,273人

令和7年4月1日 定員 1,433人（見込み）前年比+160人

令和8年4月1日 定員 1,718人～1,838人（見込み）前年比+285～405人

1) プレディプラスの実施時期および実施校

563,374千円

実施時期	実施校
令和6年4月1日	京橋築地小学校，月島第一小学校，豊海小学校，晴海西小学校
令和7年4月1日	中央小学校，久松小学校，月島第二小学校
令和8年4月1日	明石小学校，明正小学校，日本橋小学校，有馬小学校， 佃島小学校，月島第三小学校

2) 民間学童クラブの誘致

145,329千円

- * 事業者数 1事業者
- * クラブ数 3クラブ以内
- * 定員数 1クラブあたり40人以内
- * 開設地域 日本橋地域または月島地域
- * 開設予定 令和8年4月1日

9 子どもの居場所「プレディ」の開設準備【充実】

13,993千円

子どもの健全育成を図るため、保護者の就労状況にかかわらず、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を新たに開設するための準備を行う。

- * 開設校 城東小学校，常盤小学校，阪本小学校
※泰明小学校は実施場所の確保に向け引き続き検討を行う。
- * 開設時期 令和8年4月（予定）

10 養育費確保支援事業の充実【充実】

715千円

母子・父子家庭の生活の安定と児童の福祉増進を図るため、養育費の確保に向けた支援に、新たに弁護士費用に対する支援を追加し、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図る。

* 補助内容

項目	対象経費	上限額
弁護士費用の支援 <新規項目>	(1)養育費請求調停および強制執行申立てに係る弁護士費用の着手金	150,000円
	(2)申立てに係る収入印紙代、申立て時に裁判所に求められる予納切手代、戸籍謄本などの公的書類発行手数料	
公正証書等作成支援	(1)公証人手数料令に定める公証人手数料	43,000円
	(2)家庭裁判所の調停申立てに必要な収入印紙代、戸籍謄本等添付書類取得費用および連絡用の郵便切手代	
	(3)家庭裁判所の裁判に要する収入印紙代、戸籍謄本等添付書類取得費用および連絡用の郵便切手代	
ADR利用に係る支援	(1)ADRの申立料および依頼料	20,000円
	(2)1回目の調停期日に係る費用	30,000円
	(3)2回目以降の調停期日に係る費用	
養育費保証契約の締結に係る支援	養育費保証契約における初回の保証料	50,000円

※ADR

中立的な第三者の専門家に関与してもらい、話し合いにより解決を図る方法

11 出産支援祝品の増額【充実】

35,747千円

タクシー運賃の引き上げなどの物価高騰を踏まえ、妊婦の通院における経済的負担の軽減を図るため、出産支援祝品（タクシー利用券）の金額を増額する。

* タクシー利用券 1万円 → 1万2千円

※令和6年度中に出産支援祝品を受け取った妊婦で、令和7年4月1日時点で妊婦の場合は、タクシー利用券2千円を追加で贈呈する。

12 「こども計画」に基づく啓発リーフレットの作成【新規】 3,091千円

次代を担う大切な存在である子ども自身が、子どもの権利などを理解するとともに実践できるよう、ワークショップを実施し子どもの意見を取り入れた啓発リーフレットを作成する。

【ワークショップ】

- * 内 容 公募等により参加者を募集し、掲載内容やデザインなど、子どもたちが手に取りやすいものとなるよう、意見を聴取する。
- * 対 象 者 小学生～中学生
- * スケジュール（予定）
令和7年7月～ 8月 参加者募集
10月～11月 ワークショップ
- * 発行予定 令和8年3月

13 こども家庭センターの設置【新規】 9,937千円

すべての妊産婦や子育て家庭が安心して子どもを産み・育てることができるよう、母子保健分野と児童福祉分野の一体的・包括的な相談支援機能として、新たに「こども家庭センター」を設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の強化を図る。

- * 設置時期 令和7年4月
 - * 主な取組
 - ・研修などを通じた相談支援人材の育成・専門性の強化
 - ・支援対象者や抱える課題等の円滑かつ迅速な情報共有
 - ・母子保健・児童福祉両分野による合同会議の開催
 - ・支援が必要な妊産婦・子育て家庭のためのサポートプランの作成
- ※サポートプランは支援対象者の意向などを踏まえ作成し、支援対象者と共有する。

14 障害児相談支援事業所運営費補助【新規】 15,200千円

障害児相談支援事業所の新規開設などによる障害児相談支援件数の増加を促し、区民のセルフプラン率減少を図るため、事業所が区民のサービス等利用計画作成やモニタリングを行った場合、件数に応じて補助を行う。

- * 補 助 額 サービス等利用計画作成 2万円/件
モニタリング 1万5千円/件

15 障害児・障害者を対象としたスポーツ・レクリエーション教室 1,145千円

障害児・障害者が、定期的に身近な地域でスポーツ・レクリエーションを楽しみ、体を動かせる機会をつくることで、外出の機会を創出し運動不足の解消を図る。

- * 対 象 区内在住・在勤・在学の障害児・障害者
- * 実施内容 ボッチャ など

16 ふくしの総合相談窓口の拡充【充実】 57,039千円

相談者の属性や世代を問わず、福祉に関する困りごとを抱えた方の相談を一旦受け止め、関係機関と連携しながら、課題解決に向けて相談者へ継続的な伴走型支援を行う「ふくしの総合相談窓口」を拡充する。

1) 月島地域

- * 設置場所 月島四丁目1番1号 月島区民センター1階
- * 開設時期 令和7年7月

2) 日本橋地域

- * 設置場所 日本橋蛸殻町一丁目31番1号 日本橋区民センター1階
- * 開設時期 令和8年度

※京橋地域は令和6年4月に開設

17 標準服等リユース事業の対象品目拡大【充実】 15,878千円

区立学校・幼稚園の標準服・園服のリユースを通じて、環境に対する意識啓発および再使用のさらなる促進を図るため、リユースの対象品目を拡大する。

- * 新たに対象とするもの
通学帽子, リボン, ネクタイ, ワッペン
- * 譲渡額 クリーニング・補修等の実費相当額
例) 通学帽子1点 1,200円

18 幼稚園施策の充実【充実】 267,069千円

区立幼稚園における教育環境のさらなる充実を図るため、非認知能力向上に向けた取組を試行的に実施するとともに、子育ての支援策をより一層推進する。

1) すくわくプログラムの実施【新規】

22,500千円

- * 実施園 区立幼稚園, 幼保連携型認定こども園
- * 概要 「音」や「自然」など、各園が設定するテーマに沿って探究活動を実践し、園児の非認知能力向上を図る。

2) 預かり保育実施時間の延長【充実】

244,569千円

- * 実施園 区立幼稚園
- * 利用時間 教育時間終了後～午後6時（現行は午後4時30分まで）
（長期休業日は午前9時～午後6時）
- * 利用料金 日額400円（長期休業日は日額800円）
- * 開始時期 令和7年4月

19 エデュケーション・アシスタントの配置【新規】 110,534千円

小学校低学年の副担任業務などを行うエデュケーション・アシスタントを全小学校に配置することで、児童へのきめ細やかな指導を通じた学級運営の充実や教員の校務負担軽減を図る。

20 校内別室指導支援員の配置【充実】

16,848千円

小・中学校における不登校の要因は多様化しており、子ども一人一人の状況に応じた適切な支援の必要性が高まっていることから、現在中学校4校に配置している校内別室指導支援員を全中学校に配置するとともに、小学校にも順次配置する。

- * 業務内容 自主学習の見守り，学習支援 など
- * 活動時間 登校時から下校時までの間
- * 配置計画 令和7年度から 中学校5校（晴海西中学校を追加）
小学校4校（佃島小学校，月島第二小学校，
月島第三小学校，豊海小学校）

21 晴海西小学校第二校舎の整備

256,105千円

晴海地区における児童数の増加に対応するため、晴海四丁目に晴海西小学校の第二校舎を整備する。

- * スケジュール 令和5年度～7年度 基本設計・実施設計
令和8年度～10年度 建設工事
令和11年度 開設（予定）

22 日本橋中学校の改築および千代田公園の再編整備

1,357,579千円

生徒数の増加に対応ができるよう、日本橋中学校の改築を行い、良好な教育環境の維持・向上を図る。併せて、隣接する千代田公園、公園内公衆便所を再整備するとともに、隅田川テラスとの連絡橋を整備し、学校と公園それぞれの機能の更新を図る。

なお、解体・建設工事期間中は、浜町公園内に整備する仮校舎を使用する。

- * スケジュール
令和5年度・6年度 基本設計・実施設計，仮校舎整備
令和7年度～11年度 仮校舎への移転，校舎解体工事，新校舎建設工事，
連絡橋整備工事，新公園整備工事，
公園内公衆便所工事
令和11年度 新校舎開設・新公園等供用開始（予定）